

令和6年度 外部評価シート

施設名	県立奥猪名健康の郷	現指定管理期間	令和3年度～7年度(5年間)
指定管理者	奥猪名みらい創造プロジェクト	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価（対象期間：令和3年～6年）

評価項目	評価
維持管理業務	・ 清掃が行き届いており、清潔さを保っている。 ・ 県の計画修繕に加え、施設において常に様々な小規模修繕が行われており、安全管理についても安心できる。
運営業務	・ もとより人気のあるお風呂利用者数を維持しながら、「あまご」つかみ大会、サマーキャンプ、紙バンドクラフト教室やウクレレ教室など、施設の立地を活かしたイベントだけでなく、文化的要素のある事業など、多様な自主事業を展開できており、施設全体の利用率向上に役立っていると考えられる。 ・ 年中無休や開館時間の延長など、地域のニーズに寄り添った営業を行えている。 ・ 利用者アンケートについては、次期企画等に有効活用するため、利用者の人数や属性(年齢・性別・利用形態)などを明確にする必要がある。
利用状況	・ 近年、コロナウイルスの影響で低い水準となっていたが、年々回復し、令和5年度の利用者数はコロナ前(令和元年度)の 87%となっている。テニスコートのみを見ると、コロナ前の 52%にとどまっており、原因の考察が必要。 ・ 猪名川町、川西市の利用者が多く、地域連携・地域密着に優れている。 ・ 程よい利用者数で推移しており、他地域の利用者数を大幅に増やす必要があるのか、今後の自然学校受入れ減少など、運営のバランスを見る必要がある。 ・ 親水公園(無料エリア)利用者の目的、属性や人数の把握を行うことで、更なる利用者の向上につながると思われる。 ・ 利用者アンケートによると、食事の満足度が高いため、その部分を伸ばしてもいいのでは。
収支状況	・ 周りの施設に比べ低い料金形態にも関わらず、減収が少なく、素晴らしい運営をされている。しかし、料金が低すぎると、民業圧迫となりかねないため、低廉な部分については、収支のバランスをとるためにも、単価の見直しをしてもいいのでは。単価の見直しで黒字となった収入を修繕費へ充当することで、利用者数の向上、ひいては更なる利用料金収入の向上につながると考えられる。 ・ 収支精算書を見ると、人件費は予算より実績が少ないため、余裕があれば賃上げを検討してもよいのでは。また、その他経費の差額が大きいので、見直しが必要。
運営体制	・ 少ない職員数で効率よく運営されている。 ・ アンケートにおいて、イベントを知るきっかけを占める割合にチラシが多く、SNS上の情報発信が課題だと考えられる。また、Facebook がきっかけの割合は 0%となっているので、閲覧者の多い Instagram を追加してはどうか。
その他	・ 自主事業が多様で 1 年通して行われており、地域の居場所となっている。

2 残りの指定期間における改善点

利用者数や利用料金収入向上のため、県立施設として現状にとらわれず、お風呂利用者が多いことを鑑み、近年、流行っている森林でのテントサウナや、テニスコートにおいて、貸しコートだけでなくテニス教室や大会を計画するなど、先駆的・先導的なイベントや多様な講座の実現にむけ検討してもらいたい。

また、ホームページのリニューアル、SNSの効果的な使用(LINEによるリアルタイムな利用状況提供など)による施設を知らない層への広報や業務効率化に向けた更なる取り組みに期待する。

親水公園(水遊びエリア)の運営体制について、無料開放しており、目が届きにくいいため、万が一の損失を最小限にとどめる対策をとる必要がある。

3 次期公募に向けた検討課題等

利用料金が安いことは利用者にとってメリットであるが、利用者減少にならない範囲で、他施設との施設利用料や消耗品単価バランスの検討が求められる。

有効性のあるアンケートとなるため、収集対象の明確化、収集方法の改良が望まれる。

県においては、施設も古くなっているため、定期的な改修費用の措置が必要であると考えられる。

(参考) 県立健康増進施設外部評価委員会委員

氏 名	主な役職	備 考
山口 泰雄	神戸大学 名誉教授	委員長
秋永 圭子	一般社団法人ガールスカウト兵庫県連盟 連盟長	
宇田 名保美	中小企業診断士	
高見 彰	関西国際大学経営学部経営学科 教授	
山崎 清治	NPO法人生涯学習サポート兵庫 理事長	